

あなたのまちに気象防災アドバイザーを！

気象防災アドバイザーは、「地域の気象に精通し、地方公共団体の防災対応を支援することができる人材」として気象庁が委嘱した方々です。

- 平時：気象解説、気象講演（職員向け、住民向け）、防災マニュアル等策定支援、防災訓練
- 緊急時：地域に特化した気象状況の見通しの解説、防災気象情報の解説、避難情報の発令等への助言

気象防災アドバイザー（気象台OB・OG等）の活動内容の例

平時の対応

- 日々の気象解説
- 地方公共団体職員を対象とした勉強会等の実施
- 住民を対象とした気象講演会等の実施
- 防災マニュアル等の作成・改善支援、防災訓練への協力
- 地元気象台との橋渡し役
- イベント開催に先立ち、会場周辺の気象の見通しに関する解説など

大雨等の防災対応時の対応

- 地域における今後の気象状況の見通し等を詳細に（いつ、どこで、どれくらい降るか等について）解説
- 河川の水位等について解説
- 防災気象情報の読み解き力を向上させるための講義の実施
- 気象の状況に関する地方公共団体幹部への状況説明など

気象防災アドバイザーに興味のある地方公共団体の方は、気象台または気象庁までお問い合わせください。

＜制度全体に関するお問い合わせ先＞

気象庁 総務部 企画課 地域防災企画室

メール：jma_wxad@met.kishou.go.jp

電話：03-6758-3900（内線2210～2214）